

こちら

議会広報部

2011.1
第24号

発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL：0820-74-1003(議会事務局)
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 12月定例会……………1～2P
- 一般質問他……………3～6P
- 委員会視察報告……………7～9P
- その他……………10～12P



安下庄漁港の初日の出

12月定例会

平成22年第4回定例会が12月9日から17日までの9日間の日程で開かれました。

本定例会では、人権擁護委員に関する諮問1件、固定資産評価審査委員の選任同意1件(4人)、と補正予算(一般・特別・公営企業の各会計)9件、条例の制定・一部改正6件、一部事務組合の規約の改正1件、過疎計画の策定1件、公共施設等の指定管理者の指定に関するもの1件、動産の買入れ1件などの町長提出の21議案と議会における特別委員会の期限延期及び

設置の3件について慎重に審議し、全件原案どおり可決いたしました。

また、一般質問では、7名が登壇し、「イノシシ被害対策」や「耐震による公共施設の改築問題」等々、13の項目について問いました。

補正予算関係では、職員手当での減額や、基金条例制定に伴う基金の設置など、一般会計で192万6千円を減額し、特別会計では国民健康保険事業特別会計の666万3千円の減額などが主なものであります。

12月定例会

諮問・同意 2件とも可決

- ◆人権擁護委員 河原光雄氏（小松）
- ◆固定資産評価審査委員会委員
竹本厚三氏（棕野） 田中忠治氏（出井）
松井安雄氏（伊保田） 西本克也氏（土居）

条例の制定・一部改正

制定したもの

- ・周防大島町CATV加入促進事業基金条例
- ・周防大島町外国語活動推進事業基金条例
- ・周防大島町しまとぴあスカイセンターの設置及び管理に関する条例

一部改正したもの

- ・周防大島町公共下水道設置及び管理条例
- ・周防大島町農業集落排水処理施設設置及び管理条例
- ・周防大島町漁業集落排水処理施設設置及び管理条例

規約の変更等

- ・山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び山口県市町総合事務組合の規約

指定管理者(優先交渉権者)決定 (指定の期間 H23.4.1~H28.3.31)

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等

瀬戸内リゾート株式会社

○優先交渉権者の事業計画（要旨）

これまで培われた運営経験と蓄積されたノウハウをもって、大島の振興と町内外との交流を促進し、交流人口の拡大及び地域の発展に貢献する。そして、合宿利用を中心とした利用促進を行い、ハワイに関連した事業展開の実施、観光協会や他施設との連携、また、公共施設としての信頼感・公平感・安心感の提供に努める。町外に向かっては、交流人口の拡大に寄与し、町内に向かっては、スポーツと野外活動の場、健康増進と保養の場を町民の皆様提供に努める。

平成22年度12月補正予算の概要

(千円)

事業概要	主管課	補正予算額
地域情報通信基盤整備推進事業 新しく基金を積み立て、ケーブルテレビへの加入負担金の軽減	政策企画課	6,364万8
基金管理経費 新しく基金を積み立て、小学校英語授業に活用	財政課	4,786万9
支所及び出張所経費 各支所の工事請負費等	各総合支所	672万2
県議会議員選挙経費 4月1日告示、4月10日に行われる県議会議員選挙の準備	総務課	851万8
予防接種事業 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種	健康増進課	1,957万6
特産対策事業 干ばつの影響を受けた柑橘の樹体回復のための液肥を助成	農林課	400万3
緊急雇用創出事業 干ばつの影響を受けた柑橘の樹体回復のために施肥作業を実施	商工観光課	1,100万
他会計繰出金 大島病院の完成に伴い、公営企業会計への繰出金の減額	財政課	▲1億7,255万2
その他の補正 障害者自立支援給付の増額や職員人件費の減額		929万
一般会計補正予算合計		▲192万6
特別会計補正予算 各特別会計の補正予算は、給与改定などによる職員人件費の調整が主なものであり、国民健康保険事業特別会計では▲666万3。後期高齢者医療事業特別会計では、▲28万9。介護保険事業特別会計では、▲504万1。簡易水道事業特別会計51万6。下水道事業特別会計では、248万2。農業集落排水事業特別会計では▲270万7。渡船事業特別会計では▲50万。		
公営企業局会計補正予算 収益的支出を▲8,161万5。資本的収入を▲4億670万。資本的支出を▲5億7,519万3。		

一 般 質 問

イノシシの被害とその対策は！

神 岡 光 人 議員

問 イノシシによる被害状況と鳥獣対策被害防止施設整備事業補助制度について問う。

JA以外で購入した防護柵などは、補助対象とならないと聞いたが、事実か。事実であれば不公平感がある。手立てはないのか。



答 被害については、4月から現在まで、150件。被害額は、農業共済の被害を参考に、350万円相当と見込まれる。

対策は、柑橘・野菜・水稻を対象に柵やトタンによる防御を基本としたものと、大島郡猟友会に委託し、くくりわな等での捕獲を実施している。

捕獲数は11月末日で296頭を捕獲し、昨

年同時期140頭を大幅に超えている。

整備事業補助制度の事業内容は、農作物の被害防止等整備として、電気柵・トタンの資材のみが補助対象。採択基準は柑橘・水稻等で、1カ所おおむね2アール以上。補助金の上限は5万円。今後は、防護策としてワイヤーメッシュ等も追加し、大々的に取り組んでいく。JA以外での購入分について今年度は、補助金要綱に基づくため、交付できない。所得の向上、地域の活性化を図り、定住人口の減少の抑制につなげていきたい。

イノシシの捕獲頭数 (頭)

	旧大島	旧久賀	旧橘	旧東和	合計
18年度	10	0	22	77	109
19年度	30	0	25	101	156
20年度	81	2	22	135	240
21年度	110	19	33	113	275
22/11月現	90	48	64	94	296
累 計	321	69	166	520	1,076

久賀中学校校舎、建物の耐震化に向けて！

平 川 敏 郎 議員

問 本町の小中学校の耐震補強

及び改築は、順次進んでいるが、本校も老朽化が進み生徒にとって安全で快適な生活環境の確保が必要不可欠で、早急な課題と考える。

第一次診断ではIS値が、普通教室0.23、特別教室0.13、技術室0.19、と記憶している。第二次耐震診断を踏まえ事業の予算化、並びに耐震補強を行うのか、改築をするのかを問う。



答 第二次診断が平成21年度完了し、学校施設の耐震性を示す構造耐震指標が出された。数値の低い施設から耐震化を進めていくこ

とが児童生徒の安全安心に繋がるという判断のもと、計画的に進め



久賀中学校

ている。久賀中については、第二次診断で普通教室0.23特別教室0.33技術室0.72の結果が出た。財源の確保が出来れば、来年度改築の計画設計を行い、24年度以降に建替え工事を進めていきたい。

問 柳井市では、プレハブによる建物リース併用。リース後買い取りという事業で耐震建物に改築した例があるが、その点を問う。

答 視察に行ったが、小規模な事例であり、割高となるため、久賀中の改築は、教室棟、特別教室棟を含めた校舎で考えていきたい。

一 般 質 問

TPP交渉への参加を問う

杉 山 藤 雄 議員

問 制限なき関税自由化を目指すTPP参加について町長の意見を問う。

答 本町にとって農業は産業の柱である。食糧自給率向上のため、様々な施策を展開



日本の平均関税率（農作物）（％）

農畜産物	関税率	農畜産物	関税率
コンニャクイモ	1,706	粗 糖	328
えんどう豆	1,085	大 麦	256
コ メ	778	小 麦	252
落花生	593	生 糸	245
タピオカでんぶん	583	いもでんぶん	234
小 豆	403	脱脂粉乳	218
バター	360		

する中、参加すれば自給率が下がるといわれ、矛盾があり受け入れ難い。本町への影響は既に柑橘が自由化されているため5億円程度の減と考えられる。

問 イノシシ対策を問う。

答 本年度、防止対策として電気柵等の補助事業をつくった。9月になり被害が急激に増えたため補正を組み、総額で事業費600万円としたが、申込が多くて先着順93名で締めた。来年度は大幅に予算を組み要望に応えるようにする。（11月末で約300頭捕獲）

①捕獲委託金 ②免許の取得、更新などへの助成 ③死体処理 ④食肉加工等について鋭意研究をしていく。



早急に照明設備の設置を！

魚 原 満 晴 議員

問 地域住民が元気であるためのその一つの手段として、老若男女を問わずスポーツがのびのびと展開できる場所が必要であると思っている。このたび、賛同する方々の署名を集めて椎木町長と荒川議長あてに嘆願書を提出し、理解と協力を求めた。

冬場は日没が早いため、父兄達が暗くなったグラウンドに、車のヘッドライトをつけて練習している姿を幾度も見かけた。地域のスポーツ少年団や、一般町民のスポーツやイベントなどが安全に安心して開催できる夜間照明設備を橘地区の小中学校運動場に整備を要望する。



車のヘッドライトを使っでの夜間練習風景

答 沢山の方が署名した嘆願書を受理しており、照明設備の必要性は理解している。

旧町単位では橘地区だけ整備されておらず、地域格差の解消をするためにも、財政事情を勘案し、事業の進め方等について協議の場を持ち、要望に応えるべく前向きに努力する。

ここが聞きたい!!

7名が登壇

東和病院の展望を問う！

広田 清 晴 議員

問 東和病院の改築について耐震の面から必要性は認識している。企業局の認識を問う。

答 外来棟を含めた東病棟は「耐震補強か移転新築」が考えられるが入院患者がいるので東病棟の移転新築を考えている。

問 公営企業局が運営する3病院2老人保健施設は町民にとって必要な施設として大島病院建て替えを支持してきた。あの当時誤解から「大島病院建て替えは必要なし」との声があった。今回あの当時のような混乱が起きないように町民の方々に財源問題を含めた周知を求める。東和病院の機能強化、



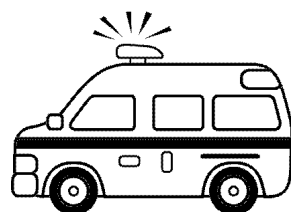
将来展望を示すことが大事。

答 地域の方々に対する説明は議会の承認後改めて考えたい。

機能強化については大島病院のような療養病床を含め検討したい。唯一整形外科の常勤医師がおり、無菌の手術室があるので今後も医師の確保を第一に考えていく。

問 企業局として、久賀地区の対応は。

答 久賀病院閉鎖の時、県に申し出たが許可がもらえなかった。現状の医師数では診療所も困難な状況である。3病院からの患者輸送車運行でご理解頂きたい。(その他、農業・教育・ケーブルテレビについて質問)



目標 500 軒！

平野 和 生 議員

問 「周防大島町体験型観光推進協議会」が発足して3年目。その間、昨年一昨年と民泊を受け入れて来たが、来年度は15校、3,000人余りの生徒を受け入れる事が決定していると聞く。11月現在の受け入れ側民家が120軒ではとても対応しきれないと思う。そうした中、受け入れ民家を増やす為にも、議員の評議員への参加を求め、小型船舶検査料、5～6万円を助成し、受入民家の加入促進をはかるべきでは？

答 現行の協議会の規約では、評議員は行政機関の職員をもって充てるとなっているので、議員の皆様方には、こういった形でご協力頂けるのが最良なのか、検討協議が必



小型船舶の検査証

要と考える。

小型船舶の検査料の助成に関しては、体験型観光の先進地において、助成を出している所もあるようだ。全額とはいかないと思うが、事業にご協力頂く方の負担等の軽減が計られるよう、精査検討して行く。

問 受け入れ民家の目標を200軒といわず、500軒を目標にして行かないと、10月の受け入れが大変。奮闘努力を求める。

一 般 質 問

「周防大島町福祉大会」の開催を！

中 村 美 子 議員

問 少子高齢化が進んでいる本町は、「福祉の町」として、種々の福祉向上に多くの方が関わっている。そんな中で、長年にわたって、自分の利益をも顧みず、社会福祉に尽力されている方々の功績



に対し、社会福祉協議会主催の「周防大島町総合福祉大会」の中で、表彰されていたが、ここ3年間、開催されていない。心のかような健康福祉社会の実現を目指すためにも、これからの開催を望むが町の対応は。

答 長年にわたって社会福祉に功績のあった方々を表彰し敬意と感謝の意を表することにより、今後の社会福祉の一層の発展に努

めることとしている。今回の質問については、社会福祉協議会に問い合わせたところ「資金不足及び人員確保が困難で開催していない。今後とも開催予定はない」との回答をもらっている。

今後の対応として、社会福祉協議会と協議を重ねているが、例えば地区の敬老会やその他の各種団体とも調整しながら、県福祉大会に推薦表彰が受けられるよう検討していく。



いい人達 見~つけた

今回は、今年発足10周年をむかえられた家房地区を中心とするフラダンス・チーム「カトレア・クラブ」をご紹介します。

カトレア・クラブは、10年前の4月、ワンフォーオール・オールフォーワン（1人は皆のために、皆は1人のために）の精神をモットーに幅広い年齢層の26名で結成されました。フラダンスを通して、地域の子供達や、看護学生達との交流を始め、各種イベントにも積極的に参加し、特に老人施設の慰問には、大島郡内外を問わず、力を入れているそうです。

結成当初は26名いたメンバーも今では半分の13名になってしまいました。練習は毎週水曜日午後1時半から家房の公開堂を借りて練習されておられます。興味のある方はぜひ見学に行かれてはいかがでしょうか。

クラブ代表者の吉本恵都子さん(家房)は、「毎週水曜日の練習日に参加できる方なら、ぜひ、クラブに入会してもらいたい」とおっしゃっています。カトレア・クラブのさらなる発展と今後の活躍を期待致します。(平野)



盆踊り大会でのカトレア・クラブの皆さんと子供達（家房地区）

委員会行政視察研修報告

総務文教常任委員会



委員長

魚谷 洋一

実施日 平成22年10月25日～10月26日

視察地 滋賀県愛知郡愛荘町 愛荘町役場

“今後の入札制度についての視察研修”

兵庫県姫路市

姫路ケーブルテレビ（株）

“導入時からの経緯、事業の推進にあたり行政・企業の手法等についての視察研修”

最初の視察地である愛荘町は、平成18年2月13日に旧泰荘町、旧愛知川町が合併。合併後人口は増え、現在約20,600人で高齢化率19.1%。

役場会議室において、

- (1) 総合評価入札
- (2) 工事看板、施行体系図等の設置
- (3) 現場技術者の常駐確認
- (4) 町ホームページでの入札公告
- (5) 建設工事発注方式
- (6) 条件付き一般競争入札
- (7) 変動型最低制限価格制度の試行実施

について、それぞれ説明を受け、質疑応答を行った。特に、(7)では、愛荘町で昨年から試行実施している。事前説明をし了承を得ていたが、当初業者からはクレームが多かった。しかし、今年は全くなかった。最低制限価格を公表していないので、下へ下への傾向があり、失格がかなり出る場合がある。町が示す最低制限価格より業者が提示する価格が低額で、かなりの開きがあるため、変動型の試行実施に至ったとの経緯説明があった。入札制度のあり方について、どの自治体も試行錯誤し、自治体独自の方法で入札執行をしているのが現状である。本町でも今回の研修を参考に今後の入札制度の検討、見直しをしていきたい。

次の視察地は、現在開設に向けて進められているケーブルテレビの先進地視察を行っ

た。姫路ケーブルテレビは、現在2市3町(姫路市・宍粟市・太子町・佐用町・上郡町)約10万世帯にサービスを展開している。

本社会議室において、

- (1) 加入率
- (2) 利用料金
- (3) 議会中継
- (4) コミュニティチャンネル
- (5) 加入の交渉(説明・PR)

について、それぞれ説明を受け、質疑応答を行った。特に、加入については、元々難視聴地域で共聴組合があったものをケーブルテレビにのせかえたため、これらの地域ではテレビについては100%近い加入率となっている。また、導入までに行政とケーブルテレビ会社が一緒に共聴組合単位・自治会単位での説明をかなりの回数行い、交渉していった経緯など、大いに参考となった。本町において、難視地域、良視地域での利用料金等の格差については、今後の事業展開にプラスとなるよう引き続き検討が必要と思われる。



▲ 姫路ケーブルテレビ（株）に於ての視察研修

民生常任委員会 子育て支援のさらなる充実を目指して



委員長
尾元 武

実施日 平成22年11月4日～5日

視察地 ・熊本県熊本市 地域交流サロン 「ばあちゃんち」

・福岡県福岡市 次郎丸中学校内 「子どもプラザ」

周防大島町においては少子・高齢化が顕著に進んでいる中、地域の発展のためにも、子育て支援はより一層強化することが重要であると考え、さらなる充実を目的に先進地の行政視察研修を実施した。

第1視察地

地域交流サロン

「ばあちゃんち」

人口約3万900人植木町の子育て支援センターである。新興住宅地を一步はいると農村地域に典型的な田の字型の古民家が1軒。約100㎡の敷地に広い庭があり5反部の畑が周囲に広がり、縁側で一人暮らしのおばあちゃんがひなたぼっこ。そんな環境のサロンである。

子育てで色々と悩む人々の応援団に、二つの保育所が、老人クラブ・民生委員・食生活改善推進委員と連携して設立。

「地域ぐるみの取り組み」

子育ては「暮らし」そのものである

- 1 人生の先輩たちと関係を築き、子育ての知恵を学ぶ
- 2 テレビを消して、家族との会話をつくる
- 3 地域の人たちも気軽に集い、相談したり子育ての昔の知恵を出し合ったりする
- 4 「早寝・早起き・朝ごはん」の合い言葉を実践する
- 5 男（父親）の仕事をも男同士で「何をしたらよいか」を探し実行する

二つの保育所の園長先生が主導となり子育て支援事業として取り組み、年間の活動助成金をもとに、野菜・米・大豆作り等行ないそれらを材料に漬け物・味噌づくりまたクッキーやパン・うどんなど生産しイベントで販売し資金としている。

「感想」

月に1回程度のサロン・子育て・高齢者の話し相手・荒廃田畑の再生・味噌づくり・旬



地域交流サロン「ばあちゃんち」

の野菜料理・昔ながらの遊び等々を教え合い、子供・老人・色々な職業の人等「人とひととのつながりあえる地域をつくろう」と真剣に考えさせられた。

第2視察地

「子どもプラザ」

◎事業の目的

中学校の空き教室を利用し、核家族化・都市化・少子化の進行の中で、地域で孤立しがちな乳幼児親子を支援し、子育てしやすい環境づくりの推進を図る。

◎機能及び事業

- ①乳幼児に遊び場を提供（気軽に利用できる場所を常設・交流の場・情報提供の場）
- ②地域の子育て活動の支援・子育てサロン・子育てサークルの支援

「組織的取り組み」

中学校との連携の効果として、多くの生徒が廊下越しながらも笑顔でふれ合い、不登校傾向にある生徒にとっては、乳幼児子育ての場が精神的癒しになる。また思春期の生徒へのプラス効果として、自分の過去を振り返り、現在や未来について考えを深めるきっかけになる。



委員長

安本 貞敏

実施日 平成22年10月21日～22日

視察地 ・兵庫県神戸市 「神戸市農業公園」
・大阪府田尻町 「田尻漁業協同組合田尻海洋交流センター」

○神戸農業公園

（財）神戸みのりの公社が運営しており、園内のブドウ畑から収穫されたブドウを使った、ワインの製造、ワインや神戸市特産の神戸牛肉等の販売を行っている。神戸牛を核としたレストラン・陶芸館・多目的広場・ゴーカート・パターゴルフ・民具農具館などもあり、幅広く集客を行っている。メインはブドウであるが、農業生産（第1次産業）、ワイン製造（第2次産業）を手掛けている。

特に休日、祭日には広域より多くの来客があり、バーベキューを楽しむ場となっている。地理的に来客数が多く、数年前より入場料が無料となっているのが魅力の一つであった。



○田尻海洋交流センター

田尻漁協は関西国際空港の連絡橋のたもとに位置し、組合員33名、漁業専業者23名の小規模な漁協である。関西国際空港の開港に伴い沖合400mまで埋立が行われ、その影響を受け漁獲量が減少してきた。漁協では、対策として漁獲物の直売や海洋交流センター事業に取り組んだ。

日曜朝市への取組みに手掛けた所、年間500万円余りの手数料を得ている。漁協ではマリンレジャーとの共存により、漁村振興を図ることを目的に、ヨット・モーターボート・水上バイクの受け入れにも手掛け、集客も実績アップしている。

・釣り堀事業への取り組み

平成12年から体験漁業の悪天候時の対策として、筏釣りを実施している。

筏へは約120名が収容可能である。

釣り堀事業の収入は、釣り放題に関して年間1万5,000名が訪れており、1億4,000万円の売り上げがある。釣りフルコースには1,300名が訪れ盛り上がっている。更には、漁業体験等も手掛け、年々事業実績は向上している。

小さな漁協でも、組合と組合員の結束から夢のある漁業が実現している。



田尻漁協にて

公共施設 視察研修

(12月13日)

今年度から実施している議会による公共施設研修を今回は参加15名の議員により、町内5つの閉校施設の視察研修を行った。

閉校施設の再利用は昨年よりの跡地利用検討委員会に於て、議論されているが、耐震問題、借地問題等むずかしい問題となっている。施設の概要は下記のとおりで早急に対応が望まれる。

耐震診断には、柱・壁の地震に抵抗する断面積の量で簡易的に判断する耐震第一次診断と、梁は崩れないものと仮定し、柱・壁が崩れてしまう終局の耐力で判断する耐震第二次診断がある。

第一次診断ののちに第二次診断を実施することになりますが、閉校が決まっていたため第二次診断は実施していません。



旧日良居中学校



旧沖浦中学校

〔参考〕 第二次診断Is値の評価

Is値0.3未満…大地震により倒壊の危険性が高い。

Is値0.3以上0.7未満…大地震により倒壊し、また崩壊する危険性がある。

Is値0.7以上…目標耐震判断指標（耐震基準）

※ 大地震とは関東大震災級をいう。

◆ 閉校施設の概要

学校名	校地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	階数	建築年	耐震第1次診断結果 (最少Is値)
旧屋代小	9,548 (うち借地2,466)	校舎棟：1,841	3	S56	0.24
		講堂：363	1	S27	未実施
旧沖浦中	9,548 (全筆借地)	校舎棟：883	1	S10	未実施
		校舎棟：737	2	S25	
		講堂：330	1	S30	
旧油田中	3,272	校舎棟：1,482	4	S50	0.20
		校舎棟：252	1	S50	未実施
旧日良居中	6,892 (体育館敷地含む)	校舎棟：1,766	3	S53	0.30
		技術棟：119	1	S53	未実施
旧三蒲小	6,612 (体育館敷地含む)	校舎棟：1,790	3	S51	0.19

議 会 構 成

議会運営委員会	
委員長	魚 原 満 晴
副委員長	松 井 岑 雄
委 員	広 田 清 晴
＃	安 本 貞 敏
＃	尾 元 武
＃	魚 谷 洋 一

柳井地区広域消防組合議員	
久 保 雅 己	田 中 隆 太 郎
柳井地域広域水道企業団議員	
神 岡 光 人	今 元 直 寛
監 査 委 員	
松 井 岑 雄	

特 別 委 員 会

議会広報編集		地 域 活 性 化		岩国基地関連対策	
委員長	平 野 和 生	委員長	今 元 直 寛	委員長	杉 山 藤 雄
副委員長	魚 谷 洋 一	副委員長	平 野 和 生	副委員長	平 野 和 生
委 員	安 本 貞 敏	委 員	魚 原 満 晴	委 員	神 岡 光 人
＃	尾 元 武	＃	安 本 貞 敏	＃	新 山 玄 雄
＃	布 村 和 男	＃	尾 元 武	＃	広 田 清 晴
＃	小 田 貞 利	＃	魚 谷 洋 一	＃	中 村 美 子
		＃	小 田 貞 利	＃	中 本 博 明
				＃	松 井 岑 雄

議 員 派 遣

行 事 内 容	日 程	開 催 地	参 加 議 員
東京久賀倶楽部	1月16日、17日	東 京	平 川 敏 郎、布 村 和 男
関西橋町人会	2月27日	大 阪	杉 山 藤 雄
東京たちばな会	2月26日、27日	東 京	平 野 和 生

契 約 関 係

1 件の動産の買入れ契約を承認

購 入 物 品	入札執行日	入札社数	落 札 会 社	入札金額(消費税込)	比率
平成22年度 防災備蓄倉庫整備事業	H22年12月10日	4 社	(株) ハ ッ タ 山 口	2,100万円	93.1

編集後記

“干支はシンボウ”

明けましておめでとうございます。今回より2年間新メンバー（といっても全員留任でした）で、お届けいたします。

さて、今年はどのような1年であってほしいでしょうか？健康で・家族みんなが楽しく過ごせる1年を願

うものですが、干支は、「十干（じっかん）」と「十二支（じゅうにし）」の組み合わせにより、陰陽五行説の陰の中の「辛（しん）」がついて「辛卯（かのとう・しんぼう）」文字通り読めば“シンボウ”の1年の予感です。

しかし、同時に、山積する課題に果敢にチャレンジするチャンスでもあります。1年間、皆さんとともに頑張っていきましょう。（魚谷）

議長に荒川政義氏、副議長には小田貞利氏

11月24日の臨時議会において、議会構成の選挙がおこなわれ、各常任委員会委員が選出されました。委員会構成は以下の通りです。



新年の抱負

新年の挨拶



議長 荒川政義

新年明けましておめでとうございます。

政権の迷走ぶりは目を覆いたくなりますが、今年は政治再生の道があるのでしょうか。

昨年は、尖閣を巡っての中国の行動、北朝鮮の無差別韓国領土砲撃、ロシア大統領の北方領土訪問と日本を取り巻く国際情勢の厳しさを痛感し、改めて国防外交がいかに大切か思い知らされました。国政を委ねている政治家には国の安全保障をしっかりと考えてもらいたいものです。

さて、周防大島町では、合併して六年が経過して、過疎計画の前期が終了としています。新計画のうち完了した事業もありますが、まずまず合格点がもらえるのではないのでしょうか。本年もしっかり実現したいものです。人口は、二万人を切りましたが、先人が築いてきた文化や伝統を大切に、交流人口百万人を目標として頑張ります。



副議長 小田貞利

町民が地域格差なく、公平な行政サービスが受けられるように、努力します。



建設環境常任委員会

委員長 安本貞敏 初心を忘れず、元気で精一杯頑張ります。
副委員長 松井岑雄 本年も勇気と対話と慈悲の精神で、町民の皆様と共に歩んで参ります
委員 田中隆太郎 不言実行で頑張ります。

“ 杉山藤雄 「高齢者に安心を」「若者に夢を」「地域に活力を」
“ 神岡光人 「有言実行」。皆さんと行政のパイプ役に徹して参ります。
“ 久保雅己 初心に帰り、町民の声を町政に反映させる努力をして参ります。



民生常任委員会

委員長 尾元 武 更なる医療・福祉の充実と活力ある町づくりに精進致します。
副委員長 布村和男 初心に帰り、町政発展のために頑張ります。
委員 広田清晴 町民の安心安全を守る立場から原発建設反対の立場で頑張ります。

“ 中村美子 力を合せて 暮らせる地域づくりに 信念を持って 取り組みます。
“ 今元直寛 戻って来なくなり、行つて見たいと思わせる美しい大島の実現を!!
“ 小田貞利 上記



総務文教常任委員会

委員長 魚谷洋一 引き続き、今年も全力投球です。
副委員長 平野和生 農・漁業と観光を取り入れた新たな産業に力を注ぎたい!
委員 新山玄雄 今年も相変わらず、力を合せて町づくりに取り組みましょう。

“ 魚原満晴 至誠一貫 本年も努力いたします。皆様にとって良い年になりますように。
“ 中本博明 今年もふるさと納税を積極的に働きかけて税収入を増やす努力をする
“ 平川敏郎 住民と行政が一体となった町づくりに向けて
“ 荒川政義 上記